

あたたかい子  
かしこい子  
たくましい子

学校だより

つよし

—第5号—

令和2年5月11日  
平戸市立津吉小学校  
文責 校長 田川定司

## 「元気な挨拶、津吉スマイル」で明るい学校にしよう！

やわらかな日差しを浴びて若葉が一層色鮮やかに輝く季節となりました。新型コロナウイルス感染症対策による長い臨時休業が明け、今日から学校が再開しました。

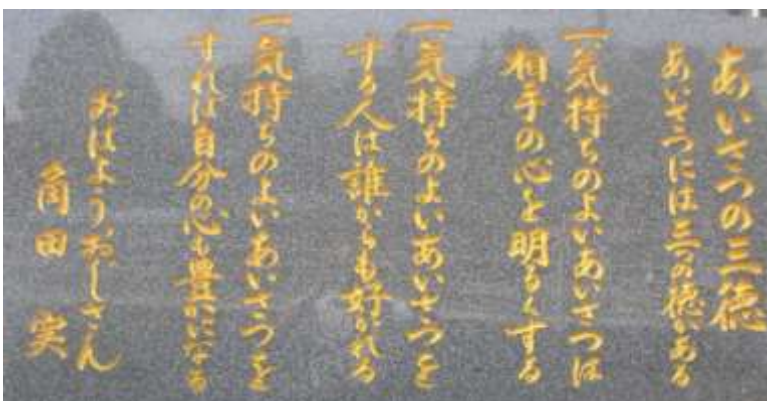
朝、校門で挨拶を交わす子供たちの姿には、元気な笑顔があふれていました。その姿を見ると、こちらまで笑顔になります。朝早くから登校し運動場で元気いっぱい遊ぶ子供や、兄弟姉妹と一緒に手をつないで登校する子供、入学した1年生も新しいランドセルを背負って坂道を元気よく歩いてきます。



このように次々と子供たちが登校してくると、学校に生命がみなぎってくるのを感じます。

さて、5月の生活目標は、「明るい学校にしよう」です。明るい学校にするためには、挨拶が一番大切です。元日本航空客室乗務員で、筑波大学・大学院客員教授である江上いずみ先生の講演の中では、『挨拶』について次のように語られています。挨拶は、人と人がコミュニケーションを図る上で基本となる明るい言葉です。「はきはきとした挨拶」や「楽しい、嬉しい、ありがとう」など明るい言葉を使っていると、明るい性格になっていき、人間関係が良くなります。また、明るい言葉は使った相手だけでなく、その様子を見ている人にも良い印象を与えます。人が集まればそこに雰囲気というものがありますが、「いい雰囲気だなあ」と思われるのです。子供たちにとっては学級がその場です。逆に、挨拶をしない学級や「でも」「だって」「けど」という否定的な表現が飛び交う空間は、暗い気持ちにさせてしまいます。子供たちには、明るい挨拶や会話を心がけ、明るく、正直に、素直な受け応えができるようになってほしいと思います。

『挨拶は魔法の言葉』です。「おはようございます」は、「お早くお目覚めになりましたね。」という気持ちを表す言葉です。「こんにちは」は、「今日は、良い日ですね。」という気持ちが、「いただきます」は、「命をいただきます。」という気持ちが込められた言葉です。挨拶には、相手を気遣う気持ちが込められているので、挨拶を交わすことで自然と人と親しくなれるのです。



津吉小学校には、挨拶おじさんの話が残り、「あいさつの三徳」として、津吉小の、そして津吉の町の伝統になっています。「元気な挨拶、津吉スマイル」の実践を通して、明るい学校を作り、その環境の中で、心豊かで良好な人間関係を築ける津吉っ子を育てていきたいと思っています。